武　一　中

令和７年５月19日
武蔵野市立第一中学校
学校だより R7－3号

URL:https://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/

恩送りを広めたい

校　長　　中嶋　建一郎

4/3朝日新聞の声欄に載った15歳の高校生、田中 梨音さんの投稿「世界に広めたい『恩送り』の心」を紹介します。全文引用します。

「この春、高校の門をくぐる私には、世界に広めたい言葉がある。『恩送り』という言葉だ。誰かから受けた恩を直接その人に返さず、別の人に送るという意味だ。誰かに席を譲ってもらっても、同じ人に再会する確率は、ほぼないから、違う人に席を譲ってあげるのだ。私も他人から受けた親切のお返しに、街や学校でごみを拾うなどして恩送りしている。誰に恩を送ってもよく、簡単に実行できる。『恩送り』の心を広めたら、例えばSNSの世界も穏やかになり、優しい社会、世界の平和につながるのではないだろうか。中学１年のとき読んだ小説『あの星が降る丘で、君とまた出会いたい。』で初めて知った言葉だ。この言葉に出会わなかったら、こんな素敵な考えを持つことはなかった。私は感謝を込めて、この言葉について話し、行動することで、周りに『恩送り』する番だと思っている。」

私は６年前に一度「恩送り」について学校だよりで取り上げました(令和元年11月28日号)。その時は私の先輩にあたる先生からこの言葉を教えてもらったことや2000年に公開された「ペイ・フォワード」という映画についても触れました。「ペイ・フォワード」という言葉の意味は、直訳だと「先に払う」です。この言葉は、見返りを求めずに、ある人物から受けた親切を、また別の人物への新しい親切でつないでいくことを表しています。アメリカでは、そういう運動、皆で取り組んで良い社会にしよう、というものがあるようです。「恩送り」と似ていますね。この映画は、主人公の中学生が、世界を変える方法として「自分が受けた善意や思いやりを、その相手に返すのではなく、別の３人に渡すということ」を考えついた物語です。気になった人は映画を見てみてください。

さて、先ほどの高校生の思いは、とても力強いです。行動を伴った素晴らしい言葉を世界に広めたいという熱意が伝わってきます。席を譲るなど身近なところで実践している例も示してくれています。「恩送り」がどんどん広がっていけば、本当に世界が平和になるような気がします。小さな一歩かもしれませんが、4/26の声欄にはこの投稿で恩送りを知り、実行している人の投稿が載っていました。私も今日、皆さんに知らせることができました。

みなさんも知らず知らずのうちに「恩送り」をしていることがあります。例えば、部活動で先輩から指導してもらったことは、直接先輩に返すことはできないので、たぶん、後輩につなげているでしょう。これも立派な「恩送り」です。皆さんも意識して「恩送り」をしてみませんか。

（5/19朝礼の話より）